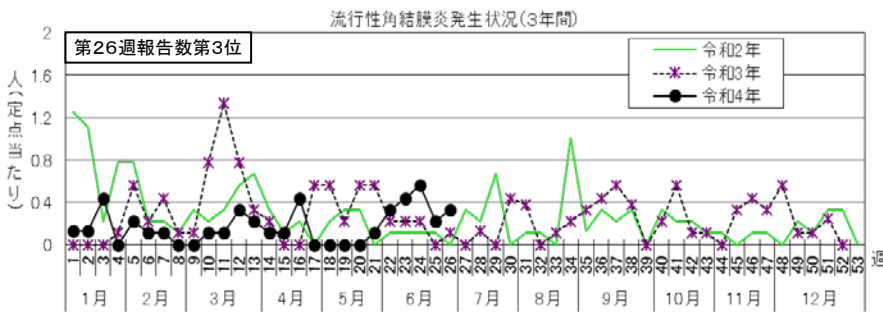
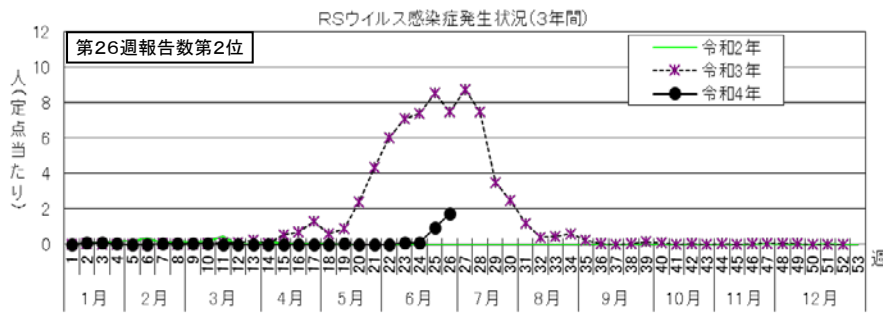
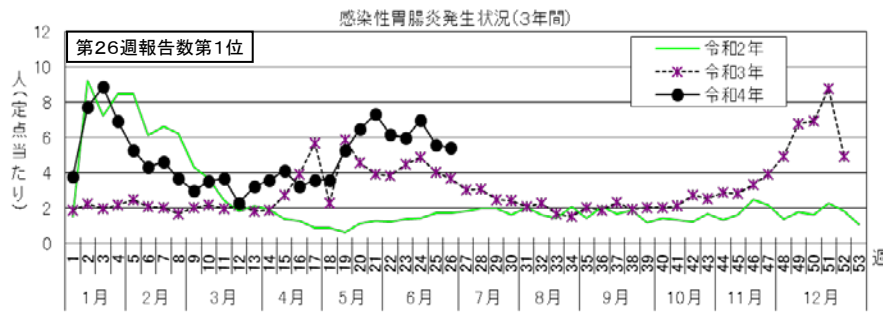


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年6月27日（月）～令和4年7月3日（日）〔令和4年第26週〕の感染症発生状況

第26週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.43人と前週（5.59人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.73人と前週（0.95人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.33人と前週（0.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～サル痘～

サル痘は、人と動物の共通感染症で、主にサル痘ウイルスを保有する動物に咬まれることで感染するといわれています。感染したサルから発見されたため、サル痘と呼ばれていますが、自然界でウイルスを保有している動物は、アフリカに生息するネズミやリスなどのげっ歯類とされています。

従来はアフリカからの報告が主でしたが、2022年5月以降は、ヨーロッパ及び北米において発生の報告が相次いでいます。また最近では、シンガポールや韓国、台湾等アジアからも報告がみられるようになりました。サル痘は、水痘やその他の発しんを生じる疾患との鑑別が難しいため、最近サル痘常在国や、サル痘症例が報告されている国に滞在歴がある方で、発しん等の症状が出現した方は、医療機関に御相談ください。

サル痘とは？

【感染経路】

感染した動物や人の血液、体液、皮膚病変部との接触により感染

【潜伏期間】

5～21日間（通常7～14日間）

【主な症状】

発熱やリンパ節の腫脹が数日持続した後、顔面を中心に発しんが出現（手のひらや足底等にも出現）

【経過】

2～4週間で自然に軽快

※小児や妊婦、免疫不全の方は重症化に注意が必要



世界における2022年7月1日時点でのサル痘の発生状況



CDC 2022 Monkeypox Outbreak Global Map より抜粋